



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 ニッパツ(日本発条株式会社)
コード番号 5991 URL <http://www.nhkspg.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉村 和己

問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部総務部長 (氏名) 野島 善一

TEL 045-786-7511

四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	439,599	5.2	21,816	△23.1	27,883	△14.6	18,969	△11.4
26年3月期第3四半期	417,806	11.4	28,382	31.3	32,664	33.2	21,415	32.3

(注)包括利益 27年3月期第3四半期 34,167百万円 (△1.7%) 26年3月期第3四半期 34,745百万円 (101.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	78.10	77.04
26年3月期第3四半期	88.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	499,027	256,378	48.8
26年3月期	464,972	230,040	46.9

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 243,474百万円 26年3月期 218,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
27年3月期	—	10.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	590,000	3.6	31,000	△17.3	34,000	△17.9	22,000	△10.8	90.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	244,066,144 株	26年3月期	244,066,144 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	1,172,170 株	26年3月期	1,171,196 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	242,894,516 株	26年3月期3Q	242,896,314 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日までの9ヶ月間）における日本経済につきましては、消費増税前の駆け込み需要の反動減が大きかったものの、円安による輸出の復調などもあり、景気の回復は緩やかながらも継続しております。

一方、世界経済につきましては、欧州は景気が回復傾向にあるもののその動きは弱く緩慢であり、米国は回復基調が堅調に継続しております。アジア地域においては、中国は景気回復に減速が見受けられ、タイは回復が低調な伸びにとどまっております。その他の一部地域では、回復傾向が見られるようになっております。

当社グループの主要な事業分野であります自動車関連は、国内販売は消費増税後の反動減があり、3,718千台で前年同期比3.4%の減少となりました。完成車輸出は回復の兆しが見えてまいりましたが、3,386千台で前年同期比4.7%の減少となりました。国内の自動車生産台数は4-6月生産が前年を上回ったものの、7-12月については前年を下回ったことにより、全体では7,110千台で前年同期比1.9%の減少となりました。

また、もう一方の主要な事業分野であります情報機器関連は、パソコン及びデータセンター向け需要の増加によるHDD（ハードディスクドライブ）の増産により受注が前年同期比で増加いたしました。

以上のような経営環境のもと、売上高は439,599百万円（前年同期比5.2%増）となりました。また収益面では北米での一時的な費用増加等により、営業利益は21,816百万円（前年同期比23.1%減）、経常利益は27,883百万円（前年同期比14.6%減）、四半期純利益は18,969百万円（前年同期比11.4%減）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

[懸架ばね事業]

懸架ばね事業は、自動車生産が北米と中国では増加したものの、日本とタイで減少したことにより、売上高が89,338百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は北米での受注増に伴う増産対応費用増等により5,157百万円（前年同期比53.4%減）となりました。

[シート事業]

シート事業は、主要客先の自動車生産が国内外で増加したことにより、売上高が194,441百万円（前年同期比8.7%増）となりましたが、営業利益は北米での立ち上げ費用の増加やタイでの減少等の影響があり7,845百万円（前年同期比21.8%減）となりました。

[精密部品事業]

精密部品事業は、HDDの増産や海外での自動車生産の増加と為替効果があり、売上高が100,243百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益が6,050百万円（前年同期比30.4%増）となりました。

[産業機器ほか事業]

産業機器ほか事業は、国内での売上増加により、売上高は55,576百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は2,762百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ34,054百万円増加し、499,027百万円となりました。

負債については、転換社債型新株予約権付社債の発行等により、前連結会計年度末に比べ7,716百万円増加し、242,648百万円となりました。

純資産については、四半期純利益による利益剰余金の増加やその他有価証券評価差額金の増加、為替の影響等により、前連結会計年度末に比べ26,338百万円増加し、256,378百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期連結業績予想につきましては、平成26年11月6日に公表いたしました業績予想数値から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、日本発条（欧州）株式会社、鄭州日発汽車零部件有限公司及びトープラ アメリカ ファスナー社は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が4,849百万円増加し、利益剰余金が3,137百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,256	67,593
受取手形及び売掛金	126,652	128,116
商品及び製品	14,228	15,057
仕掛品	8,355	10,995
原材料及び貯蔵品	11,105	12,699
部分品	3,549	4,041
繰延税金資産	4,251	2,931
その他	19,880	22,892
貸倒引当金	△105	△33
流動資産合計	250,175	264,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	125,626	131,432
減価償却累計額	△78,992	△82,756
建物及び構築物（純額）	46,633	48,676
機械装置及び運搬具	201,818	214,433
減価償却累計額	△160,385	△169,956
機械装置及び運搬具（純額）	41,432	44,476
土地	32,166	31,483
リース資産	3,384	2,902
減価償却累計額	△1,890	△1,762
リース資産（純額）	1,493	1,139
建設仮勘定	8,911	10,286
その他	55,658	58,871
減価償却累計額	△48,713	△51,282
その他（純額）	6,945	7,588
有形固定資産合計	137,583	143,651
無形固定資産	4,669	4,907
投資その他の資産		
投資有価証券	55,859	69,195
長期貸付金	3,719	3,882
繰延税金資産	4,095	4,932
その他	9,034	8,324
貸倒引当金	△164	△160
投資その他の資産合計	72,544	86,175
固定資産合計	214,797	234,733
資産合計	464,972	499,027

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	77,972	79,787
電子記録債務	28,637	30,933
短期借入金	10,759	8,445
未払法人税等	8,120	1,664
繰延税金負債	878	766
役員賞与引当金	249	216
設備関係支払手形	1,464	2,250
その他	38,606	45,496
流動負債合計	166,688	169,561
固定負債		
社債	20,000	10,000
転換社債型新株予約権付社債	—	12,055
長期借入金	20,254	16,009
リース債務	1,308	1,072
繰延税金負債	8,464	11,553
退職給付に係る負債	15,444	19,361
役員退職慰労引当金	545	612
執行役員退職慰労引当金	598	711
その他	1,627	1,711
固定負債合計	68,243	73,087
負債合計	234,932	242,648
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,009	17,009
資本剰余金	19,308	19,308
利益剰余金	163,920	175,081
自己株式	△796	△797
株主資本合計	199,441	210,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,740	23,588
為替換算調整勘定	4,782	11,487
退職給付に係る調整累計額	△2,695	△2,203
その他の包括利益累計額合計	18,828	32,872
少数株主持分	11,770	12,904
純資産合計	230,040	256,378
負債純資産合計	464,972	499,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	417,806	439,599
売上原価	360,836	387,426
売上総利益	56,969	52,172
販売費及び一般管理費	28,587	30,356
営業利益	28,382	21,816
営業外収益		
受取利息	582	691
受取配当金	828	975
持分法による投資利益	506	161
為替差益	2,688	4,190
その他	1,184	1,288
営業外収益合計	5,790	7,306
営業外費用		
支払利息	423	292
固定資産除却損	368	302
その他	717	645
営業外費用合計	1,509	1,239
経常利益	32,664	27,883
特別利益		
固定資産売却益	—	153
負ののれん発生益	79	—
特別利益合計	79	153
特別損失		
減損損失	—	601
関係会社出資金評価損	34	—
特別損失合計	34	601
税金等調整前四半期純利益	32,708	27,435
法人税等	10,026	7,368
少数株主損益調整前四半期純利益	22,681	20,066
少数株主利益	1,266	1,097
四半期純利益	21,415	18,969

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	22,681	20,066
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,316	6,860
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	8,547	6,525
退職給付に係る調整額	—	497
持分法適用会社に対する持分相当額	199	217
その他の包括利益合計	12,063	14,100
四半期包括利益	34,745	34,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,669	32,736
少数株主に係る四半期包括利益	2,076	1,430

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	合計
	懸架ばね	シート	精密部品	産業機器 ほか	計		
売上高							
外部顧客への売上高	89,572	178,931	95,372	53,930	417,806	—	417,806
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,322	28	1,215	5,420	7,987	△7,987	—
計	90,894	178,960	96,587	59,351	425,793	△7,987	417,806
セグメント利益 (営業利益)	11,072	10,029	4,640	2,640	28,382	—	28,382

- (注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額7,987百万円はセグメント間取引の消去であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており、調整額はございません。

- II 当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	合計
	懸架ばね	シート	精密部品	産業機器 ほか	計		
売上高							
外部顧客への売上高	89,338	194,441	100,243	55,576	439,599	—	439,599
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,433	20	1,266	5,798	8,519	△8,519	—
計	90,772	194,461	101,510	61,374	448,118	△8,519	439,599
セグメント利益 (営業利益)	5,157	7,845	6,050	2,762	21,816	—	21,816

- (注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額8,519百万円はセグメント間取引の消去であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており、調整額はございません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、報告セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(参考情報)

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

(単位：百万円)

	日本	アジア	北米	計	消去又は 全社	連結
売上高	262,431	117,032	53,818	433,281	△15,475	417,806
セグメント利益（営業利益）	16,623	10,279	1,478	28,382	—	28,382

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) ア ジ ア・・・タイ・マレーシア・中国・インド

(2) 北 米・・・アメリカ

当第3四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

(単位：百万円)

	日本	アジア	北米ほか	計	消去又は 全社	連結
売上高	277,518	109,294	69,453	456,266	△16,666	439,599
セグメント利益又は損失（△） （営業利益又は営業損失）	17,366	7,562	△3,112	21,816	—	21,816

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) ア ジ ア・・・タイ・マレーシア・中国・インド

(2) 北米ほか・・・アメリカ・オランダ